

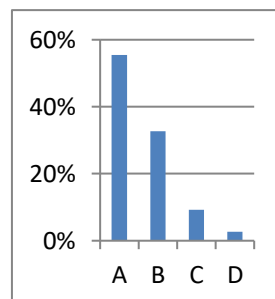
令和3年度 川辺小学校の教育に関する児童アンケート(第一回)まとめ

A=そう思う B=だいたいそう思う C=あまり思わない D=思わない

① 小学校生活は楽しいですか

	A	B	C	D	合計
回答数	229	135	38	11	413
%	55%	33%	9%	3%	

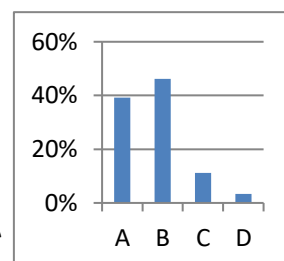
・AとB評価が合わせて88%と高く、多くの子どもたちが楽しく学校生活を送っている様子がわかります。一方、CやDの評価の子どもたちがいることを真摯に受けとめ、その子どもたちも楽しい学校生活を過ごせるよう、今後も継続して日常的に声をかけたり、相談の時間をもったりするなど、児童の思いや心に寄り添えるよう、特に配慮してまいります。



② 授業はよくわかりますか

	A	B	C	D	合計
回答数	162	191	46	14	413
%	39%	46%	11%	3%	

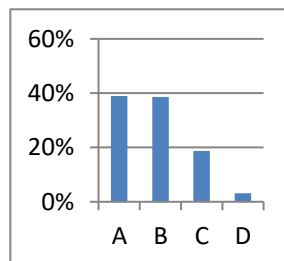
・AとB評価が合わせて85%と高く、授業がよく分かると感じている児童が多いことがわかります。今年度、一人一台のタブレットが導入され、授業で活用を始めています。今後、それぞれの児童に応じた活用が出来るよう、職員研修を行っていきます。しかし、CやD評価の児童がいることを重く受けとめ、授業研究や研修を通してわかる授業づくりを目指していききたいと思います。そのために、児童の意見を尊重した、児童主役の授業をしていきます。



③ 先生や友達、地域みなさんに元気にあいさつができますか

	A	B	C	D	合計
回答数	163	159	77	13	412
%	39%	39%	19%	3%	

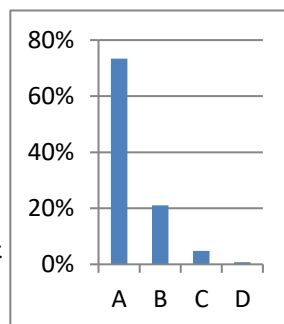
・AとB評価が合わせて78%です。保護者の皆様のAとB評価は合わせて77%でしたので、児童と同様の評価となっています。ですが、それぞれのA評価を比べると、児童は39%、保護者の皆様は29%でしたので、子どもたちの自己評価の方が高めの結果となっています。校内で元気なあいさつをした時の気持ちよさを、来校者や地域の方々へも広げていけるよう、あいさつを励行するとともに、その意義や仕方等もおおさえていきます。



④ 友達と仲良く遊ぶことができますか

	A	B	C	D	合計
回答数	303	87	20	3	413
%	73%	21%	5%	1%	

・AとB評価が合わせて94%と高い評価でした。しかし、C・D評価の子どもが6%いることを受けとめていきたいです。コロナ禍で友とかかわり合いながら学んだり生活したりする機会が少なくなってしまうがちですが、友の存在を常に感じながら、自己有用感を高めることができるような機会を学校生活の中に創っていきます。



⑤ 学校のきまりを守って、安全に気をつけて生活できていますか

	A	B	C	D	合計
回答数	237	152	20	4	413
%	57%	37%	5%	1%	

・AとB評価が合わせて94%と高い評価でした。学校が児童にとって「安心して学び、安全に生活できる場所」となるよう、「下駄箱のはきものをそろえる」「特別教室への移動を静かに行う」「無言になる清掃を行う」などで落ち着いた生活を呼びかけてきているところです。今後も引き続き呼びかけを行うと同時に、お手本となる児童の姿を積極的に取り上げ、広めていきます。

